

令和3年度  
北名古屋市教育委員会基本方針

北名古屋市教育部

# I 学校教育課

## 1 基本方針

不連続と言えるほど急激に変化する時代、一人一人の児童生徒が自分のよさや可能性に気づき、多様な人々をかけがえのない人として認め、共に力を合わせて誰もが予測できない社会の大変革を乗り越え、豊かな人生を切り拓く児童生徒を育成することが学校教育に求められています。

その実現には、我が国学校教育の蓄積である「日本型学校教育」の良さを継承・発展させるとともに、学校における働き方改革とGIGAスクール構想を推進しながら学習指導要領を着実に実施することが必須です。

その際、ツールとしてのICTを学校教育の基盤とし、日本の学校教育が培ってきた児童生徒の思考を深める発問、児童生徒一人一人の多様性と向き合いながら一つの学習集団としての学びにまで高めていくことなどの「技」を生かし、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現し、誰一人取り残すことなく児童生徒の可能性を引き出すという新たな日本型学校教育の創造が求められています。

一方、今般の新型コロナウイルス感染症対応の経験を踏まえ、感染症や災害の発生時において学校教育を継続する対策の強化・実現も求められています。

## 2 基本的理念

「自ら高めること」と「社会の担い手になること」を基本とし、ふるさと北名古屋の文化・風土に誇りを持ち、世界的視野で主体的に深く学び、かけがえのない生命や自分らしさ、多様な人々の存在を尊重し包み込む豊かな人間性及び「知・徳・体」にわたる生き抜く力を育む北名古屋の教育を進める。

## 3 重点目標

- (1) 令和の日本型学校教育の確立を目指し、社会を生き抜く力を育む。
  - ①個に応じた学習指導を工夫し、学習指導要領の内容を確実に習得する。
  - ②小学校高学年教科担任制の積極的導入をはじめ、義務教育9年間を通じて育成する資質・能力及び課題等を小中が連携して明確化し、一貫した教育に取り組む。
  - ③英語教育・情報教育・キャリア教育を積極的に推進する。
  - ④北名古屋市版スタートカリキュラムを活用し、保育園・幼稚園・こども園との連携教育を推進する。
  - ⑤全国学力・学習状況調査及び標準学力検査の調査結果に基づき、検証改善サイクルの取

組を全校体制で実施する。

(2) いじめ、不登校等への取組を徹底する。

①学ぶこと、友達と関わるのが楽しい学校・学級づくりに努める。

②不登校児童生徒を対象とするオンライン教育を推進する。

(3) 地域とともにある学校づくりの一環として、すべての小・中学校を併設型小中一貫校化（学園化）し、小中連携及び地域連携を推進する。

(4) 教育環境を充実する。

①新型コロナウイルス感染症予防対策及び教育継承対策を継続・強化する。

②G I G Aスクール構想による一人一台 I C T端末と高速大容量L A Nを利活用する。

③教育の質の向上をめざし、教育職員の業務量の適切な管理等に関する指針や多忙化解消計画等を遵守し、学び続ける教員への支援を充実する。

## II 生涯学習課

### 1 基本方針

本市では、「北名古屋教育推進スキーム・生涯学習編（2019年度～2023年度）」を作成し、新たな目標を掲げ、実りある生涯学習施策に取り組んでいる。

人生100年時代におけるマルチステージへの取組み、人工知能（AI）等がもたらす技術革新により大変革をもたらす「超スマート社会（Society 5.0）」の実現、新型コロナウイルス感染症への対応など、社会が劇的に変化する中、それぞれのキャリアや学びのニーズに応じ、仕事や生活に必要な知識や技術を生涯を通じて身に付けていかなければならない。

特に、新型コロナウイルス感染症への対応を契機に、オンライン学習など、新しいテクノロジーを活用し、サービスをDX（デジタルトランスフォーメーション）することで、空間的制約を超えた学びの場をより一層進展させるため、新しい時代の社会教育、生涯学習の学びのあり方についてどうあるべきか、私たちに突き付けられた命題となっている。

基本方針として「夢と志を持ち、可能性に挑戦し生き抜くために必要な力を育成する」、「生涯学び、成長し、活躍できる環境を整える」、「教育政策推進のための基盤を整備する」の三つの柱を設定し、目標に向けて、各種事業を展開していく。

### 2 重点目標

(1) 夢と志を持ち、可能性に挑戦し生き抜くために必要な力を育成する。

ア 学びへの参加のきっかけづくりの推進

学びと活動が、人の内面の成長や充実した人生、豊かな地域づくりにつながることから、様々な学習機会の提供に加え、参加のきっかけづくりを推進する。

イ 多様な団体等との連携・協働の推進

地域の創生には多様な団体等との連携・協働が不可欠なことから、それぞれの団体等が有している学習資源を活用することで、WIN-WINの関係づくりを目指す。

(2) 生涯学び、成長し、活躍できる環境を整える。

ア 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進

全ての市民が、生涯を通じて自らの人生を設計し活躍することができるよう、「学び」と「活動」の生涯学習を提供し、実りあるライフスタイルを形成する。

イ 社会人のリカレント教育の推進

学びたい人がいつでも学ぶことができ、必要に応じて学習に参加できる再教育（学び直し）システムの構築を進める。

ウ 新しい時代に向けた社会教育施設の有効活用

人づくりや地域づくりを支援する施設として、利用しやすく親しまれる施設運営を目指す。

(3) 教育政策推進のための基盤を整備する。

ア 安全・安心で質の高い放課後児童対策の推進

子育て世代を支援するため、また放課後の安心・安全な居場所を確保するため、児童クラブとともに進めている放課後子ども教室の充実を図る。

イ 土曜学習の推進

子どもたちの土曜日の豊かな教育環境の実現に向けて、地域、団体等の協力を得て、持続可能で有意義な土曜学習を推進する。

### Ⅲ スポーツ課

#### 1 基本方針

国の「第2期スポーツ基本計画」では、スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」といった多様な形での「スポーツ参画人口」を拡大し、人々がスポーツの力で人生を楽しく健康で生き生きとしたものとし、活力ある社会と絆の強い世界を創るという「一億総スポーツ社会」の実現を目指している。

こうした動きの中、本市においては、「第2次北名古屋市総合計画」、「第2期北名古屋市教育大綱」及び「第2期北名古屋市教育推進スキーム」の理念を踏まえ、地域に根ざした健康で活力に満ちたスポーツ及びレクリエーション活動を推進するため、基本的方針を「誰もがスポーツに親しみ、健康と絆を育むスポーツ環境を整える」と定め、各種事業に取り組む。

また、コロナ禍においては、スポーツ施設の感染拡大防止対策の徹底と状況に応じた臨時休場の実施、又は適切な利用制限の設定を行うとともに「新たな生活様式」におけるスポーツイベントのスタイルについても研究し、積極的に導入していく。

#### 2 重点目標

##### (1) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

市民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む基盤として、市民の誰もが各々の年代や関心、適正等に応じて日常的にスポーツに親しむ機会を充実する。

##### (2) スポーツ実施率の向上

これまでスポーツに関わってこなかった人が気軽にスポーツに親しめるようなスポーツのスタイルを提案し、成人のスポーツ未実施者（1年間に一度もスポーツをしない者）の数がゼロに近づくことを目指す。

##### (3) スポーツに関わる多様な人材の育成と活躍の場の確保

スポーツに関わる人材の全体像を把握しつつ、指導者、専門スタッフ、審判員、経営人材等、スポーツ活動を支える人材の育成と活躍の場の確保を図ることにより、スポーツ参画人口の拡大に向けた環境を整備する。

##### (4) スポーツ施設の充実と学校体育施設の有効活用の促進

市民のスポーツ参画人口を増加させるため、スポーツ施設の充実と学校体育施設の有効活用を促進する。